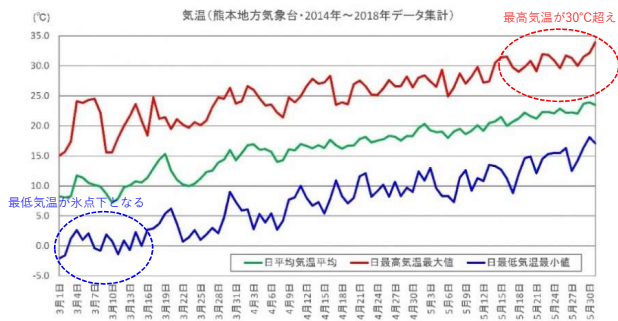


基本構想（正式決定）：開催期間：2022年の春の2ヵ月間程度（3月～5月）

①気候（気温・梅雨）



年	梅雨入り	梅雨明け
2014	6月2日ごろ	7月20日ごろ
2015	6月2日ごろ	7月29日ごろ
2016	6月4日ごろ	7月18日ごろ
2017	6月20日ごろ	7月13日ごろ
2018	6月5日ごろ	7月9日ごろ
平年	6月5日ごろ	7月19日ごろ

注）平年は1981年～2010年までの過去30年の平均の日付引用）気象庁HP・昭和26年（1951年）以降の梅雨入りと梅雨明け（確定値）

- ・3月上旬は、最低気温が氷点下となる時期がある。
- ・5月中旬から、最高気温が30°Cを超える日が多くなる。
- ・平年の梅雨入りは6月5日ごろとなっている。
- 3月中旬から梅雨入り前（6月5日ごろ）が望ましい。

②生産時期（流通）



月	主要流通植物(各月上旬位※順不同)
1月	パンジー、ピオラ、プリムラ、ナデシコ、ストック、ノースポール、デージー、ネモフィラほか
2月	パンジー、ピオラ、プリムラ、ナデシコ、ストック、ノースポール、リビングストンデージーほか
3月	ガザニア、リビングストンデージー、ペチュニア、アリッサム、ナデシコ、マリーゴールド、芝桜、デージー、キンギョソウ、キンセンカ、ペゴニア、ハーブほか
4月	ペチュニア、マリーゴールド、バーベナ、日々草、百日草、ポチュラカ、サルビア、ペゴニア、ケイトウ、ガザニア、ハーブほか
5月	ペチュニア、マリーゴールド、日々草、百日草、ポチュラカ、トレニア、サルビア、ペゴニア、ケイトウ、千日紅、ガザニア、ハーブほか
6月	ペチュニア、マリーゴールド、日々草、百日草、ポチュラカ、サルビア、ペゴニア、コリウス、千日紅、ガザニア、メランポジウムほか

- ・3月から5月にかけて、花きの取扱量も多くなる。
- ※3月になると花の品数が増えてくる。

③関連イベント

開催月	イベント名	開催時期
3月	植木市	2/1～3/11
	春のお城まつり	3月上旬～下旬
	YOSAKOIまつり	3月下旬
4月	桜祭り ※県内各地	3月下旬～4月上旬
	宇城市フラワーフェスタ	4月中旬
5月	仙酔峡つつじ祭り	4月下旬～5月下旬
	水俣ローズフェスタ	5月上旬～下旬



- ・4月、5月には各地で花のイベントが開催されている。
- ・「しょうぶ」に関するイベントは、6月に入ってからの開催が多い。
- ※「母の日」：5月第2日曜日

④先催事例（春開催）

開催年度	開催地	開催日程	期間	来場者数	中心都市人口
2019年度	長野県・松本市・大町市 塩尻市・安曇野市	H31.4.25(木)～6.16(日)	53日間	約70万人	約43万人
2016年度	横浜市	H29.3.25(土)～6.4(日)	72日間	約600万人	約372万人
2014年度	静岡県・浜松市	H26.3.21(金・祝)～6.15(日)	87日間	約129万人	約81万人
2011年度	鹿児島県・鹿児島市	H23.3.18(金)～5.22(日)	66日間	約97万人	約61万人
2009年度	岡山県・岡山市	H21.3.20(金・祝)～5.24(日)	66日間	約92万人	約69万人
1986年度	熊本県・熊本市	S61.8.1(金)～10/12(日)	73日間	約125万人	約56万人

※開催年(2022年)の春季の暦

2022年3月							2022年4月							2022年5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
3連休 20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				

ゴールデンウィーク

CASE1：3月26日（土）から5月15日（日）（51日間：土日祝日20日・平日31日）

（メリット）

- ・他のケースに比べ、開催期間が短いことから事業費は抑えられる。

（デメリット）

- ・3月の春分の日を含む3連休の集客を逃してしまう。
- ・バラの鑑賞時期を考えると、開催期間が不足する。
- ・小学校の春休み期間「3月25日～4月8日」をフルに活かしきれない。

※概算事業費：約14～16億円

CASE2：3月19日（土）から5月15日（日）（58日間：土日祝日23日・平日35日）

（メリット）

- ・3月の春分の日を含む3連休の集客が見込める。
- ・小学校の春休み期間「3月25日～4月8日」をフルに活かせる。

（デメリット）

- ・バラの鑑賞時期を考えると、開催期間が不足する。

※概算事業費：約16～18億円

CASE3：3月19日（土）から5月22日（日）（65日間：土日祝日25日・平日40日）

（メリット）

- ・3月の春分の日を含む3連休の集客が見込める。
- ・小学校の春休み期間「3月25日～4月8日」をフルに活かせる。
- ・春開催の目玉であるバラの鑑賞時期を踏まえると、5月下旬ごろまでの開催が望ましい。
- ※水俣ローズフェスタ（2019）4/29～5/26

（デメリット）

- ・他のケースと比べて開催期間が長いことから事業費は増える。

※概算事業費：約17～19億円